

<持続末梢神経ブロック用>

伝達麻酔用カテーテル
医療機器承認番号：20100BZZ00886000

ペインクリニックセット

HAKKO DISPOSABLE PAINCLINIC SET

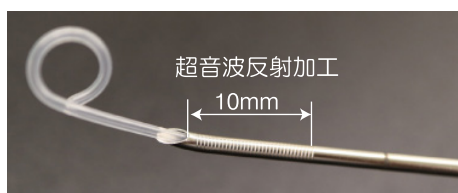


用途

末梢神経近傍へカテーテルを留置し、持続的に麻酔薬の注入

特長

- カテーテルはピッグテール形状を採用。組織間に留置されたカテーテルの前方への迷入、後方への自然抜去を防止します。
- カテーテル孔部位をピッグテール形状より近位のストレート部位に作製しているため、神経から離れた位置にピッグテール部分を留置することができ安全です。



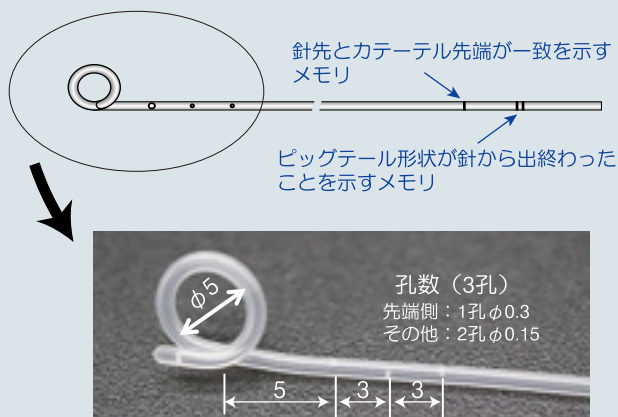
<参考資料>

Case Report

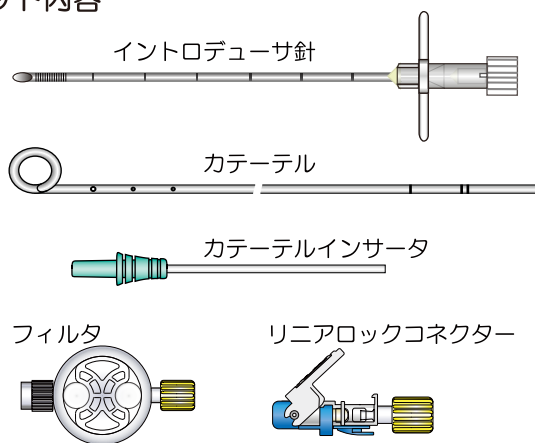
医療法人寺西報恩会 長吉総合病院 整形外科 清水 勇人先生
持続斜角筋間ブロックにおける新型カテーテルの有用性

QRコードスマートフォン等よりアクセス頂くと斜角筋間ブロックにおける「ピッグテールカテーテル」留置手技動画が閲覧できます

カテーテル拡大図



■セット内容



仕 様

製品コード	型式	セット内容	包装形態
27430546	HSタイプ GF17I95P5-03h40	■イントロデューサ針 17G×80mm ■フィルタ ■カテーテル(ピッグテール形状) Φ1.0×950mm I ■カテーテルインサータ ■リニアロックコネクタ	1箱10セット入、 1セット毎ブリスター包装 EOG滅菌済
27430556	HSタイプ GF18I95P5-03h40	■イントロデューサ針 18G×80mm ■フィルタ ■カテーテル(ピッグテール形状) Φ0.8×950mm I ■カテーテルインサータ ■リニアロックコネクタ	

ペインクリニックセット ピッグテールカテーテル

——“カテーテルインサータ”接続方法——

ペインクリニックセット ピッグテールカテーテル（以下カテーテル）に付属しているカテーテルインサータの接続方法は下記の通りとなります。

- ①カテーテル後端部より、カテーテルインサータ内にカテーテルを挿入します。

カテーテルインサータ（短針側）が挿入口です。

注意 カテーテルの向きとカテーテルインサータの向きを確認！

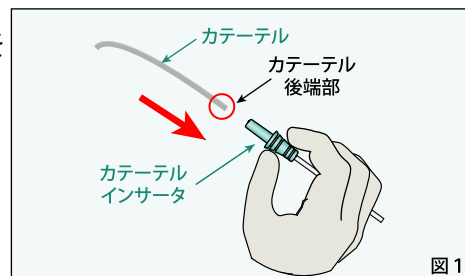


図1

- ②カテーテル（ピッグテール部）をすべてカテーテルインサータ内に収納します。

注意 カテーテルインサータ内へのカテーテルの挿入は、必ず使用直前に行ってください。

時間が経過するとピッグテール形状の復元力が低下するため。

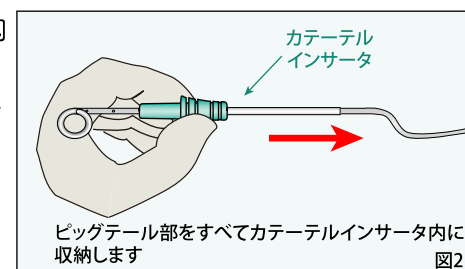


図2

- ③イントロデュサ針の内針を抜去した針基にカテーテルインサータを接続します。

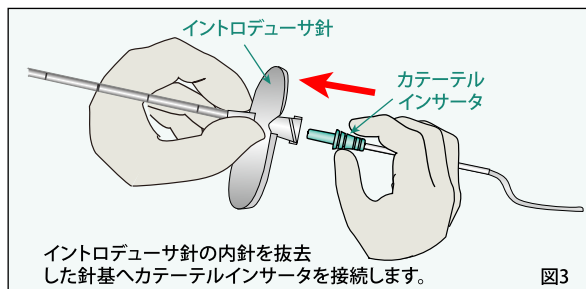


図3

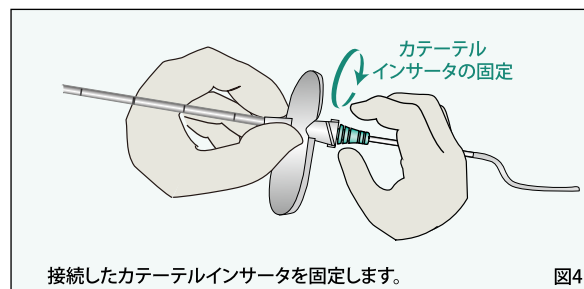


図4

- ④カテーテルを押し込みます。

1つ目のメモリ：イントロデュサ針にピッグテールカテーテルの先端が到達した時点を示すメモリ。

2つ目のメモリ：イントロデュサ針よりピッグテール部が全て出たことを示すメモリ。

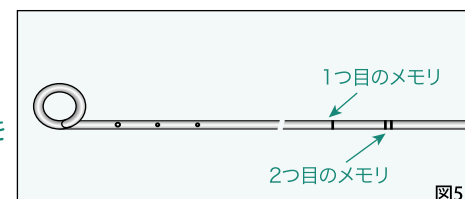


図5

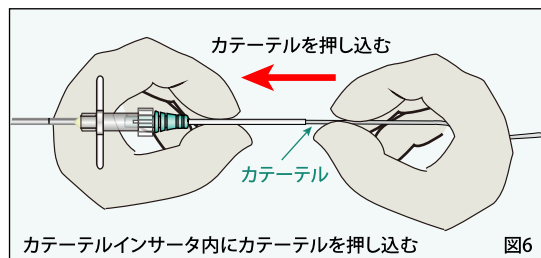


図6

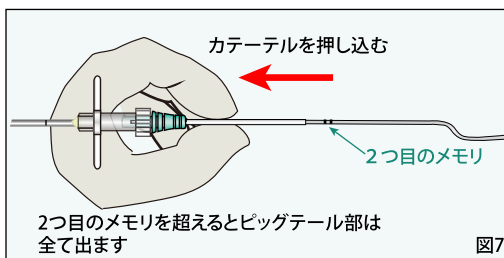


図7

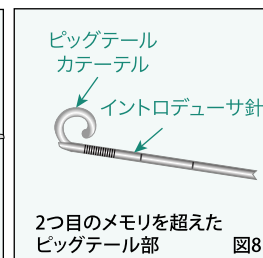


図8

POINT カテーテルインサータと針基の接続部でカテーテル先端が引っ掛かる場合には、カテーテルをねじり（回転）ながら挿入すると比較的スムーズに挿入できます。

- ⑤カテーテルを押さえ、カテーテルインサータとイントロデュサ針を抜去します。

- ⑥カテーテルにリニアロックコネクター及びフィルタを接続し、持続注入器と接続してください。

本製品をご使用になる前に、製品の注意事項等情報（電子添文等）の内容を必ずご確認ください。